

### ★リレーは大会の「華」

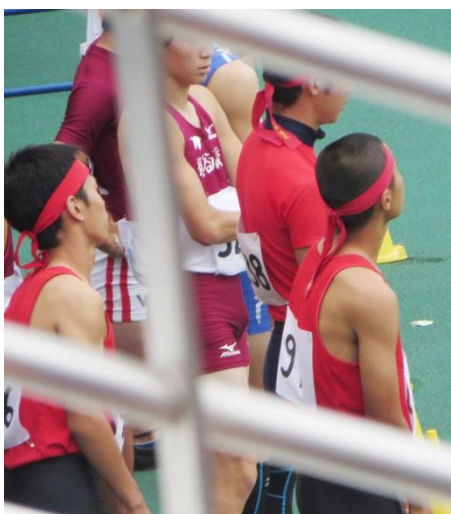
恩師・小原監督は言っていた。

「いいか、リレーを取れば総合優勝にも匹敵する価値がある」

陸上部でなくとも、こういった経験はないだろうか？

・・・小学生の運動会でリレーに選ばれ大歓声の中走る。・・・その興奮は一生忘れないだろう。頭の中が真っ白になるほど感動する。

リレーは駅伝も含めて、陸上競技の中でも別物である気がする。スーパースプリンターを要して圧勝したり、大逆転するシーンも面白いし、誰一人突出したランナーがいなくても緻密なテクニックと長年の厳しい練習で勝つのもまた言い知れぬ感動がある。



今年の春高は後者である。100m10秒台、400m49秒台こそいないものの、層は厚く、切磋琢磨している良いチーム力がうかがえる。

東部大会からそれは見て取れた。現在の東部大会のリレーはタイムレース一発決勝。

そこで43秒18をマーク。東部3位といえど周囲は春日部東、昌平、越西、越南など、県大会決勝の常連校である。マイルは3分26秒51で3位。堂々たるものであった。

東部が終わってから大塚さんに聞いてみた。「県は両方狙えますよね？」すると大塚さんは「いやいや・・・そんなに埼玉は甘くないよ。ほかのチームも（バトン）失敗してる。どこも拮抗しているよ」・・・と。30年以上県大会を見てきた大塚さんは、リレーの怖さを幾度も幾度も思い知らされているのだろう。しかしこうも言っていた。「うちも選手の状態は様々だから、県はいろいろ変える」・・・と。

春の総体でも両リレー準決勝へ進めた大塚采配に期待して見守ることにしよう。

### ★県大会リレー

まず400mRが43秒06で1着好発進を決めた。

ほか強豪教も順当に残ってくる。しかし2着取りの準決勝でも栄に次いで42秒73をマーク！決勝での順位に俄然期待が広がった。

決勝は見事に常連校がそろった。さすがの東部地区は半分の4チームを占めた。春高は400mまで出場している主将・井ノ川を2走に配し、42秒45で5位入賞を果たした！！

毎回チーム新記録の快挙。勢いに乗っている証であった。

#### ★締めくくりの1600mR

いよいよマイルの決勝を見られる事になった。しかし、県大会のマイルの決勝の春高陸は意外に見ていない。曜日の問題があって、日曜は3日目が多いからだ。

流は自分たちの代しか見ていないという。私は自分らの代と、陸名英二の1994年の二回だ。2005年奥岡の時は曜日が合わずに決勝は見られなかった。

最後を締める1600mRの決勝は大会会場も異常に盛り上がる。

春高は8レーン。最初から飛ばす事になる。

・・・レースの前に私はちょっとした心配が脳裏にあった。メンバーは誰もテーピングはしていないのだが、2走者の主将・井ノ川はいったい何レース目か・・・。400m予選、準決勝、200m、予選、準決勝、決勝。400mR予選、準決勝、決勝。そして1600mR予選、準決勝、決勝である。





本数が多いのは全国どこでも強い高校は当たり前なのだが、さすがに心配に・・・。

春高は準決勝で、48秒台で400mを優勝した早大本庄のペースを追って、3分23秒台へ突入した。

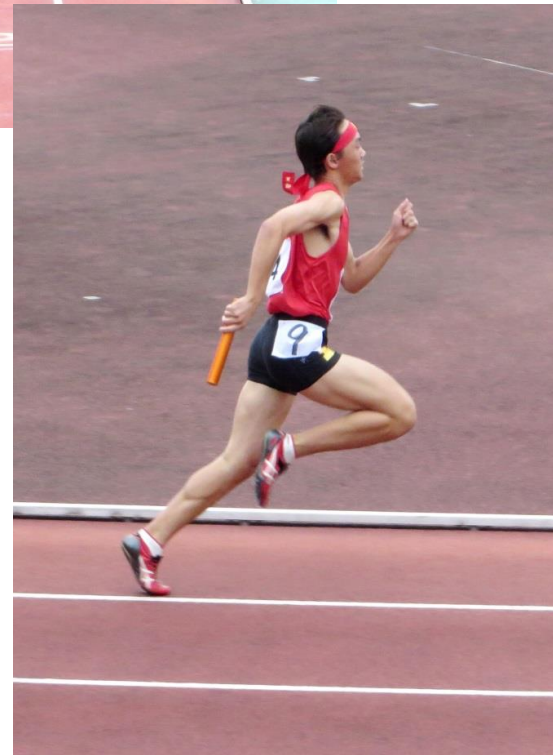
いよいよ決勝。熊高がリードし早大、越南が上位を争う展開に。



マイルは空気が違う。  
みなが高揚し、アドレナリンが放出されまくる。  
応援しているほうも鳥肌がたつ。  
陸上競技経験者にしか理解できまい。  
幾多のOBたちも思いを馳せる。



アンカーは1年生の鈴木。  
20mの差を逆転を狙って爆走。  
全てを使い切ってゴール。



結果は8着の3分28秒29。



無酸素で精根尽き果てて、動けない鈴木を支えるメンバー。  
来春は歓喜の声を上げるゴールをしてくれるだろう

先着した他チームらが、達成感から雄叫びを上げていた。春高はヘトヘトに疲れたアンカー鈴木が立ち上がれず、審判に抱えられていたので、ややトーンダウンした感じになっていた。決勝を戦ったのだからもっと「凜」としていいように思ったが・・・(春高生らしいと思った・・・流と微笑んでしまった)



#### ★県大会トラック 3位

県新人大会が終わった。総合入賞は逃したがトラックでは堂々3位だった。しかしインターハイへの道は、ここから始まる。

県新人はあくまで新人戦。春の総体とは全く別試合なのだ。重要なのは予想以上に相手は大きく強くなってくる・・・という毎年の現実だろう。

長年見ていると、新人戦の順位は学総体で簡単に覆されることの方が多いと思う。春高リレーは、今回は毎レースごとに新記録という好結果であった。こういう時こそ引き締めなければならない。今回、いつもの調子が出せなくて涙をのんだ他チームは、みな死に物狂いで練習してくるであろう。

春高生の共通した特徴は、真面目さゆえに想定外の出来事に弱く、場に飲まれやすい・・・というところか・・・。

(春高陸のキャラではないのだが) もっとがめつく、挑戦的で、なりふり構わない凶太さを備えてもよいのかなあ・・・と思う(笑)。

みな、素直な少年たちだから。



これからきつい冬季が始まる。  
春には、もっとたくましくなった姿で競技場を疾走するだろう。  
赤い風はすでに100年吹き続けているのだから。

37回 野本

